

架空送電線路工事従事者用教材

一般教養編

昭和55年4月発刊
平成18年7月改訂



社団法人 送電線建設技術研究会

架空送電線路工事従事者用教材「一般教養編」 の改訂にあたって

送電線建設技術研究会では、全国統一的な架空送電線工事従事者教育実施のため、昭和55年に、現場代理人用として「一般教養編」「安全衛生管理編」「施工管理編」「基礎技術編」「技能編」の5科目の教材を発刊した。その後、関係法令の改正、記載内容の一部陳腐化などにより「一般教養編」「安全衛生管理編」「施工管理編」は昭和62年と平成11年に、「基礎技術編」「技能編」については平成6年にそれぞれ改訂を行った。

これらの教材シリーズは、現場代理人育成教育の必修科目として全国的に広く活用されており、教材等専門委員会としても、技術進歩や現場管理手法の変化、送電線業界を取り巻く環境変化などを適切に取り入れ、教材の鮮度を保っていかなければならないと考えている。

今回の改訂は、時代に適合した教育を推進する立場から、最近の電気事業法改正による電力自由化拡大など、電気事業を取り巻く環境の大幅な変化や、若年層の職業感の変化などを反映した。

主な改訂内容は次のとおりである。

1. 電気事業の概要
 - ・平成11年、15年の電気事業法改正による電力自由化の状況を追記
 - ・販売電力量、電源構成などのデータ、環境対策などの取り組みを最新データに更新
2. 送電線工事業界及び送電線建設技術研究会
 - ・送電工事受注状況など業界を取り巻く環境と課題及び送研活動状況について更新
3. 送電線工事における地域社会との協調
 - ・最近の社会情勢と整合しない記述内容を削除
4. 現場管理
 - ・現行の「第5章：望まれる職業観」及び「第6章：現場代理人のあり方」の記述内容について、最近の社会情勢と整合しない部分を削除して全体的に見直し、新たに「第4章：現場管理」に統合して整理
5. 関連法規
 - ・電気事業法など、改正法規を更新

この改訂作業に参加された方々は次のとおりである。

これらの方々に心より感謝の意を表します。

平成18年7月

教材等専門委員会

委員長 大津谷 正 和

本書の審議に関与した委員

教 育 委 員 会

委員長	田中輝彦	(J Pハイテック)	委員	足立幹雄	(かんでんエンジニアリング)
委員	八反田晃弘	(北弘電社)	〃	大津谷正和	(住友電設)
〃	吉岡孝治	(山加電業)	〃	大上善範	(中電工)
〃	吉川信夫	(弘電社)	〃	野田光昭	(四電工)
〃	鈴木達雄	(ヒメノ)	〃	今村光良	(東光電気工事)
〃	森慶人	(北陸電気工事)	幹事	大和田憲也	(システックエンジニアリング)
			特別参加	丸山恵	(送研専務理事)

教 材 等 専 門 委 員 会

委員長	大津谷正和	(住友電設)	委員	安藤直之	(ヒメノ)
委員	飯田健二	(東京電力)	〃	竹下主義	(かんでんエンジニアリング)
〃	貝沼憲司	(ユアテック)	〃	田中輝彦	(J Pハイテック)
〃	井口勝弘	(関電工)	(途中退任)		
〃	大和田憲也	(システックエンジニアリング)	委員長	古川修次	(栗原工業)

本書の作成に関与した委員

工 事 従 事 者 用 教 材 改 訂 作 業 会

主査	大津谷正和	(住友電設)	委員	安藤直之	(ヒメノ)
委員	飯田健二	(東京電力)	〃	竹下主義	(かんでんエンジニアリング)
〃	貝沼憲司	(ユアテック)	特別参加	田中輝彦	(J Pハイテック)
〃	井口勝弘	(関電工)	事務局	小茂田健治	(送研)
〃	佐藤成知	(システックエンジニアリング)	(途中退任)		
			主査	古川修次	(栗原工業)

一般教養編目次

1. 電気事業の概要	1
1.1 電気事業の歴史	1
1.2 電気事業の現状	2
1.2.1 電気事業の基本的使命	2
1.2.2 電力需要の推移と今後の見通し	2
1.2.3 供給力	3
1.2.4 供給信頼度の水準	5
1.3 電気事業の当面する課題と対応	6
1.3.1 電気事業を取り巻く環境の変化	6
1.3.2 電気事業制度改革及び規制緩和の動き	6
1.3.3 電気事業の当面する課題と対応	8
1.4 架空送電設備の変遷の概要	12
2. 送電線工事業界及び送電線建設技術研究会	15
2.1 送電線工事業界の最近の動き	15
2.1.1 送電線工事量(受注金額)の推移	15
2.1.2 電力会社と送電線工事業界の現状と課題	15
2.1.3 経営合理化のための取り組み	19
2.1.4 将来を見通した送電工事業界の課題	20
2.2 送電線建設技術研究会	21
2.2.1 創立	21
2.2.2 送研の歩み	21
2.2.3 送研の組織	22
2.2.4 送研の事業活動	23
3. 送電線工事における地域社会との協調	24
3.1 地域社会との協調	24
3.1.1 地域社会と企業活動	24
3.1.2 電力会社の地域対応	24
3.1.3 工事施工者としての地域対応の責任	24
3.2 対外折衝のための基本事項	24
3.2.1 工事施工者としての自覚	24
3.2.2 折衝に臨むための条件整備	24
3.2.3 折衝にあたり特に留意する事項	25
3.3 工事現場における対外折衝の要領並びに安全環境対策	25
3.3.1 地元への挨拶	25
3.3.2 作業場の設営	26

3.3.3	宿舎の管理	26
3.3.4	車両関係	26
3.3.5	道路の使用	26
3.3.6	騒音振動対策	26
3.3.7	排水, 掘削, 土砂などの処理	27
3.3.8	地元作業員の使用	27
3.3.9	作業の安全	27
3.3.10	地域住民との接遇	27
3.3.11	跡始末	28
3.4	工事作業員の指導	28
3.4.1	基本事項	28
3.4.2	地域住民に対するマナー	28
3.4.3	作業場のマナー	28
3.5	折衝技術の一例	29
(1)	折衝に臨む心構え	29
(2)	効果的な折衝時期の選定	29
(3)	リラックスできる場所の設定	29
(4)	ふさわしい服装, 態度の保持	29
(5)	的確な人の選定	29
(6)	第一印象の重視	29
(7)	相手の性格に合わせた対応	29
(8)	相手との距離の伸縮	30
(9)	話の強調点	30
(10)	人格語(相手の名前)の活用	30
(11)	心にしみ込む言葉の使用	30
(12)	余情のある言葉の活用	30
(13)	予告用の言葉の使用	30
(14)	短い繰り返し言葉の効用	31
(15)	話し言葉の使用	31
(16)	優越感の利用	31
(17)	リズムカルな肯定的質問の効果	31
(18)	話し合いは具体的な話題からスタート	32
(19)	方言などの活用	32
4.	現場管理	32
4.1	組織活動の原則	32
4.1.1	組織体の意義	32
4.1.2	組織活動の原則	32

4.2 補佐と協力	34
4.2.1 補佐の基盤	34
4.2.2 補佐の仕方	35
4.2.3 個人の欲求とチームワーク	38
4.2.4 協力の仕方	39
4.3 現場代理人へ期待されること	40
4.3.1 バイタリティーを持つ	40
4.3.2 目標を持って挑戦する	41
4.3.3 創造性を発揮する	41
4.3.4 自己啓発に努める	42
4.4 現場代理人の職務	43
4.4.1 基本的職務	43
4.4.2 現場代理人の地位と役割	45
4.5 管理者の心構え	46
4.5.1 管理者のあり方	46
4.5.2 管理者としての条件	47
4.6 リーダシップ	47
4.6.1 リーダシップによる統率	47
4.6.2 リーダシップの3つの型	48
4.6.3 チェックリストによる自己反省	50
4.7 部下の管理	51
4.7.1 管理の方法	51
4.7.2 管理の基本	52
4.7.3 職場での服務管理	53
4.7.4 職場規律の必要性の理解と指導	53
4.7.5 労働時間の管理	53
4.7.6 仕事の分担の仕方	53
4.7.7 命令の仕方（指示を含む。以下同じ）	54
4.7.8 仕事のチェックと統制	55
4.8 動機付け	56
4.8.1 動機付けとは	56
4.8.2 動機付けの方法	57
4.9 参画	59
4.9.1 部下を参画させる	59
4.9.2 参画のやり方と制約	59
4.10 目標の管理	60
4.10.1 目標を与えて指導する	60
4.10.2 目標を設定するには	62
4.10.3 結果を評価する	63

4.11	部下個々人に対する指導	63
4.11.1	部下と接触し理解する	63
4.11.2	部下に積極性を持たせてその能力を活用する	64
4.11.3	公平に扱う, 褒める, 注意する	66
4.12	部下の育成	67
4.12.1	部下指導の重要性	67
4.12.2	代行者の育成	68
4.13	職場の人間関係	68
4.13.1	組織と人間関係	68
4.13.2	より良い人間関係のために	70
4.13.3	コミュニケーションとは	72
4.13.4	コミュニケーションの難しさ	73
4.13.5	効果的なコミュニケーション	74
4.14	職場集団のあり方	75
4.14.1	職場集団の生成	75
4.14.2	協力関係を強化する	76
4.14.3	より良い職場基準を作り, 職場のモラルを高める	76
4.14.4	職場の意見を統一する	77
4.15	人の扱い方	78
4.15.1	人との関係を良くするための基本心得	78
4.15.2	現場の問題の扱い方の四段階法	79
4.15.3	言い分や気持ちのつかみ方	82
4.15.4	人の扱い方の活用	83
4.15.5	事例研究	84
4.16	仕事の教え方	89
4.16.1	用意の仕方	89
4.16.2	教え方の四段階	96
4.17	仕事の改善の方法	99
4.17.1	改善の仕方の四段階	99
4.17.2	作業選択表の作成	110
5.	関連法規	112
5.1	電気事業法	112
5.2	送電線の建設計画に伴って規制を受ける関連法規	113
5.3	送電線の施工調査・工事実施に伴って規制を受ける関連	152